

スギタ君

夕陽をうけた海岸の繪は佳作である。

山本君

平素の作より一段落ちて居る。

次に余の概評は

向つて左側にある

スギタ氏

の海岸夕照の畫は心もちよく日が映じて居る、小作ではあるが忠實の寫生である。

山本氏

海岸の夕 殘光が映じてそれが海に倒映して居る感じはよく現はれて居る、そして忠實の作であるところを大にとる。

温泉場の夜の景色、色も描き方も感じもよく出来て居る、電燈がいま少し強く光つたら更に可ならんと思ふ。

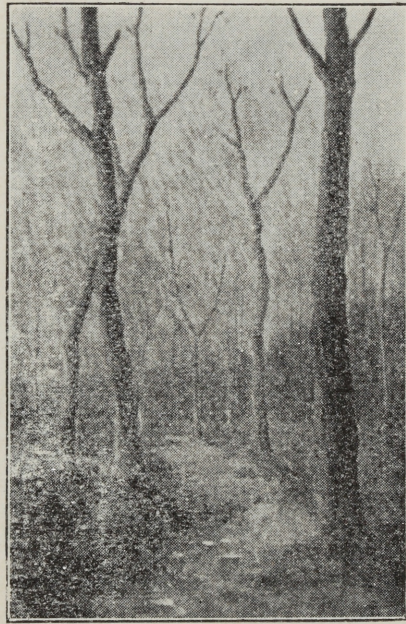
富士の雲は少し堅過ぎた様であるが正直な寫生であるから感じはよく現はれて居る、殊に中景の濃色が深味があつて面白い。

ホンマ氏

夏の夕の道路山水で、色はよく現はれて居るが、一調で變化がないから遠近が現はれない、夕陽の空色はよく現はれて居る。

三宅氏

出品二十七牧、場中氏の畫を以て充されて居る、流石に専門家



繪ハギキ競技會一等

だけありて一段の光彩を放つて居る。然して海岸、小流、溪流平原、森、林、空、雪、といふ如く、日本の風景は凡て描てあるといふても差支ひない。先づ概評すれば、色彩が乏しく單調である、凡ての畫にいま少し變化色をほしい、雲、又は大作の溪流等は季の説明が出来て居ない、そして水は凡て全じ様に感ずる、色の強い夏の溪流、又は夏の海岸、初秋の森等は充分に感じが現はれて居る。夕暮の雪景色は色の調子がよく、感じも充分に現はれて居る。

中澤氏

奈良が面白く感じた、油繪よりは數等落ちる。大作で海岸の松があるが、松が強い色で地面が弱いから調和しない、が地面の色にいま少し深味があつたら佳作と思ふ。

(完)

ある朝主人が山水畫をかくのを見てゐた三つの女の子、青く長く續ける河を指し、「かアちゃんこれは何に」それは河です」筈の皮? (明治の家庭)

*

*

*

*